

今年度の中学校の体育大会は、天候に悩まされました。天気予報が好転することを信じ、決定を朝まで待って9月21日(土)に実施した学校。延期を決断して翌日に実施した学校。早々に延期を決め平日開催にした学校。対応はさまざまでしたが、どの学校も実りの多い体育大会でした。その一部をご紹介します。

### ＜矢作中学校＞

『平成から令和へと、移り変わる時代。変化に追われる僕たちにも、変わらないことがあります。それは「仲間との支え合い」です。仲間と支え合うことで、できないことができるようになったり、苦しいときにがんばれたりすることができます。』  
体育委員長の選手宣誓(一部抜粋)



魅せろ 矢中魂

白熱した各種目の決勝、学級の絆が発揮された学年競技、さわやかな笑顔がはじけた全女の「夏フェス」、耐・継・輝が一つとなり、力強さと迫力あふれる全男の「矢中魂」、各連合のカラーと想いが一体となった応援合戦、競技の裏で責任をもって取り組む係の仕事。どの場面においても「仲間」の存在を、そして何より「仲間との支え合い」を感じることができた。圧巻だったのは連合(縦割り)活動。どの連合からも絶え間なく続く応援は、多くの仲間を勇気づけ、支えていた。生徒の体調面を考慮し、途中で応援を完全休止するほどの盛り上がりを見せた。閉会式で、連合が一体となって喜ぶ姿、悔しがる姿が、今の矢作中学校を物語っている。



矢中で夏フェス

(文責：内田 貴博)

### ＜城北中学校＞

城北中学校は、「大運動会」という名称を開校当時から使用している。これは個人競技よりも保護者や地域の方々の支援と参加を重視した姿勢を貫き、生徒、教師、保護者、地域が一体となり、つくり上げるものにしたという思いが伝統として引き継がれているからである。その伝統を色濃く映している競技が、生徒・教師・保護者が一緒になり、学級対抗でトーナメントを戦う「親子綱引き」である。今年度の親子綱引きも、生徒と保護者、教員が力を合わせて綱を引き、ともに勝利を喜び、他の競技では見られない大きな盛り上がりで感動を与えてくれた。



盛り上がった綱引き



あふれる笑顔

### ＜南中学校＞

今年度は「結～絆で結ぶ想いのバトン」をテーマに新しく全員リレーを取り入れた。学級全員で走ることで「バトンを渡すときに声を出そう」「もっと走り出しを早くしよう」と、約束事を決めて練習する学級や、時間を見つけて毎日運動場等で練習する学級などそれぞれの学級が団結している様子がみられるようになった。グラウンドでの真剣な表情、上手にバトンパスができたときは、笑顔が見られ全員リレーをとおして学級の絆を強めることができた。南中学校の歴史には、多くの先輩方や地域の方々、歴代の先生方の想いがつまっている。時代が移り変わっても、澁刺南中の想いを南中生がさらなる飛躍とともに受け継ぎ令和の時代でも大いに活躍してくれることを期待している。



練習の積み重ねが発揮されたリレーのバトンパス

(文責：鈴木 智記)